



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

令和8年2月10日(火)  
知多市報道発表資料

庶務課

担当：庶務チーム 古川

(0562-56-0146)

## 全国で初めて一部赤色を採用した消防職員の活動服を導入

熱吸収率が低い赤色を全国で初めて採用した、市消防本部の職員が着用する活動服を導入しました。活動服の更新は22年ぶりで、消防活動時の熱中症リスクや輻射熱の軽減が期待できます。

### 1 活動服とは

消防には、主に警防隊、救助隊、救急隊の3つがあり、隊員によって着用する服はさまざまです。一般的に、警防隊は緊迫した現場でも冷静さを表す青色の活動服、救助隊は危険な現場での視認性を重視したオレンジ色の救助服、救急隊は医療行為を行うため清潔さを表す白色の救急服を着用しています。今回は、多くの職員が着用する活動服を更新しました。

### 2 変更点

- ① 立体裁断のストレッチ仕様の活動服とすることで、従前の活動服に比べて動きやすく、より安全に活動することができるようになりました。
- ② 従前は、背面にオレンジ色を配色した活動服でしたが、赤色を採用することで熱吸収率を低下し、消防活動時の熱中症リスク、輻射熱の軽減が期待できます。また、赤色を活動服の前・背面上部に用いることで、人体の重要臓器を熱から守ることができます。赤色の生地は、防火衣と同じ素材を使用しており、熱だけでなく強度も増しました。
- ③ 大規模災害時に緊急消防援助隊として他県に出動した際に、愛知県部隊であることが分かるよう「AICHI」の文字を背面にプリントしました。



### 3 今後の展望

新たな活動服を着用し消防職員の士気を高め、より質の高い市民サービスの提供を目指します。また、新しい活動服を広く周知し、知多市消防本部への関心を高め、新規採用職員への応募につなげていきます。

▲新たに導入した活動服